



学校だより 11月号

横浜市立瀬谷さくら小学校
校長 池田 千晶

学校教育目標 「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」

全力！ 協力！ さくらパワー

校長 池田 千晶

今年、3年ぶりの赤白に分かれての運動会となります。それに向けて、どのように取り組んでいるかをお伝えできるように、ホームページ上で「運動会への道」シリーズで掲載してあります。当日に「全力」を出し、「協力」している、輝かしい姿も大切なのですが、それに至るまでの経過の中で、いかに子どもが成長できるようにしていくか、また子ども自身が成長している実感をもっていけるか、日々の過程の中にある宝に気付けるようにしていきたいと思っています。

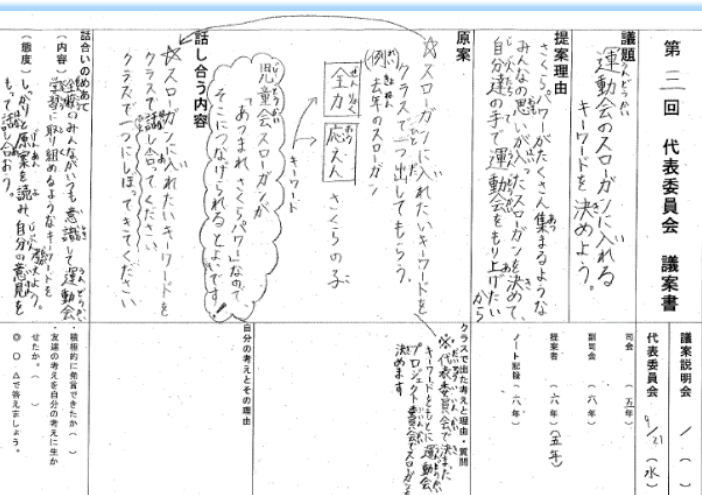
学校生活の中で昨年度と違うのは、自分の組を応援する運動会の歌が響いていることです。この赤白決めは、「団結式」の中でクラス代表がくじを引いてきめました。Aチームが赤組、Bチームが白となります。赤白が決まったので、応援団の練習や学年代表リレーの練習も始まりました。音が出る応援グッズも作成しはじめています。また、徒競走は順位をつけます。体育の陸上の学習と関連させて体育の学びの力を活かせるようにカリキュラムの配慮をして



【瀬谷さくら小学校HP QRコード】
「運動会への道」の経過は、HPをご覧ください。

ます。団体競技は、できるだけ密を避けてできるものを選択しました。低中高学年のブロックごとの団体演技も、発達段階にあったものになるよう工夫しています。幼保小の学びの連携という視点から、幼保小連携事業で組んでいる関東幼稚園さんの運動会を拝見し、ここまで成長した子どもたちを小学校がバトンタッチしたことの意味「幼保での学びを土台に小学校での学びをつくる」ということを再確認しました。

日頃お世話になっている地域の来賓の方々に今年もおいでいただけないことは、



代表委員会で運動会のスローガンを話し合った結果「全力」「協力」のキーワードを入れることに。

誠に心苦しい限りです。しかし、今年は一歩進めて学校運営協議会の方々に子どもの様子を参観してもらい、ご意見をいただく予定です。保護者の皆様におかれましては、当日、子どもに大きな拍手を送っていただくとともに、昨年同様、お互いにマナーを守って、子どもの活躍に花を添えていただければ、大変うれしく思います。私たち職員も、全力でさくらの子が輝くように取り組んでいきます。

